

公開シンポジウム

子どもたちが経験した原発震災

—被害経験と教育の視点から考える—

日時：2024年3月28日（木）13時00分から16時00分

場所：宇都宮大学峰キャンパス8号館8E11教室（対面）12時30分開場
オンライン（ZOOMミーティング）

※オンラインの場合は3月26日（火）までに申込をしてください

URL:https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_tB0Psf8ZRySKbqbaPjRk-Q

主催：宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センター
福島原発震災に関する研究フォーラム

共催：原子力市民委員会 福島原発事故部会（第1部会）

・事前登録
不要（対面）
・無料



オンライン申込先

企画趣旨：東日本大震災から13年目を迎える現在、未曾有の原発震災を子ども時代に経験した世代が社会に参加する年齢になっています。原発震災の被害とその後の経験に関する研究や報道の多くは、当時大人世代を対象としていますが、子ども時代に原発震災に遭った人々は、どのような被害を経験したのでしょうか。また、自らの被害を考えるうえで必要な情報や教育内容を、その後成長する過程において学ぶ機会があったのでしょうか。

本シンポジウムでは、原発震災当時子どもだった世代を対象とした量的・質的調査・取材にもとづいて、震災当時の子どもたちが経験した被害の実態と、その後受けてきた教育に注目しながら、原発震災がもたらした多様な被害とその影響について考えます。

<プログラム>

13：00～13：05 開会挨拶

米山正文（宇都宮大学国際学部国際学科長・多文化公共圏センター長）

13：05～13：10 企画趣旨説明

清水奈名子（宇都宮大学教授・福島フォーラム共同世話役・原子力市民委員会）

13：10～14：05

第1部 調査・取材報告

若年層の量的調査 後藤忍（福島大学教授・原子力市民委員会）

若年層の質的調査 吉田千亜（フリーライター）

若年層への取材・発信 井上きみどり（取材漫画家）

質疑応答

14：05～14：20 休憩

14：20～15：20

第2部 パネルディスカッション

司会 清水奈名子

パネリスト

子ども時代に原発震災を経験した学生・卒業生（予定）

後藤忍・吉田千亜・井上きみどり

高橋若菜（宇都宮大学教授・福島フォーラム共同世話役）

15：20～15：50 質疑応答

15：50～16：00 総括コメント 高橋若菜

登壇者プロフィール

後藤 忍（ごとう しのお）さん

福島大学共生システム理工学類教授。専門は環境計画、環境システム工学、環境教育など。福島第一原発の事故後、福島大学放射線副読本研究会を組織し、独自の放射線副読本を作成。また、福島県環境創造センター交流棟「コミュタン福島」や東日本大震災・原子力災害伝承館、ウクライナ国立チョルノービリ（チェルノブイリ）博物館の展示内容の分析なども行っている。編著書として、『「コミュタン福島」は3.11以降の福島をどう伝えているか』（フクシマ・アクション・プロジェクト事務局、2018年）他。

吉田千亜（よしだ ちあ）さん

フリーライター。原発事故の取材を続けている。『孤塁 双葉郡消防士たちの3・11』（岩波書店、2020年）で講談社 本田靖春ノンフィクション賞（第42回）、日隅一雄・情報流通促進賞2020大賞、日本ジャーナリスト会議（JCJ）賞受賞。『ルポ母子避難 消されゆく原発事故被害者』（岩波新書、2016年）、『その後の福島 原発事故後を生きる人々』（人文書院、2018年）、近著に『原発事故、ひとりひとりの記憶——3・11から今に続くこと』（岩波書店・ジュニア新書、2024年）他。

井上きみどり（いのうえ きみどり）さん

仙台市在住の漫画家。震災伝承、福島の問題、女性と子どもの病気、国際協力などをテーマに作品を発表。仙台放送「Live News it!」金曜コメンテーター。著作は『わたしたちの震災物語』（集英社、2011年）、『ふくしまノート』（竹書房、2013年）、『これって、甲状腺の病気のせいだったの?』（K&M出版、2019年）、『半ダース介護』（集英社、2019年）、『あの時、子どもだった私たちから伝えたいこと』（311メモリアルネットワーク、2023年）他。

高橋若菜（たかはし わかな）さん

宇都宮大学国際学部教授。地球環境戦略研究機関研究員を経て、2003年に宇都宮大学に赴任。越境大気汚染管理、気候変動政策や循環型社会をめぐる地球環境政治／比較環境政治を専門とし、2011年以降は原発事故被害者の支援や調査研究に従事従事している。編著書として『奪われたくらしー原発被害の検証と共感共苦（コンパッション）』（日本経済評論社、2022年）他。

清水奈名子（しみず ななこ）さん

宇都宮大学国際学部教授。専門は国際関係論。国連の安全保障体制について研究すると同時に、2011年以降は原発事故後の人間の安全保障の危機についても調査研究に携わり、福島県からの避難者、福島県の在住者、避難先からの帰還者、栃木県をはじめとする福島近隣地域の被災地住民、支援者等への聞き取り調査、アンケート調査を続けている。近著に日本平和学会編『3.11からの平和学』明石書店（2023年）他。

JR宇都宮駅からの交通アクセス

交通アクセス

バス 西口③⑭番乗り場

東口③番乗り場

峰キャンパスまで約15分(2.2km)

陽東キャンパスまで約20分(4.2km)

お越しの際は公共交通機関をご利用下さい。

